

## 「内陸のフロンティアを拓く取組」を推進するにあたって

「内陸のフロンティア」を拓く取組は、「事前の復興」の考え方にに基づき、国が進めている「国土強靱化」や「地方創生」の考え方を先取りしているものであり、静岡県未来を切り拓くため、当団体も積極的に取り組んでおります。

しかし、全国ワースト2位の人口の減少、景気回復の遅れなど、本県経済を取り巻く環境は依然厳しいものであります。

そこで、民間と行政が車の両輪となってこの危機を脱し、静岡県が防災・減災と地域成長の両立により発展していくため、次の点について提案します。

### 1. 防災先進県としてのPR強化

静岡県が他県と比較して「防災先進県」であることを前面に出してPRを実施するなど、県内外で、沿岸・都市部のマイナスイメージ払拭に対する取組みを強化していただきたい。さらに、「防災先進県」として、本県の「防災産業」の育成についても検討していただきたい。

### 2. 防災・減災への取組みの推進

#### ①防潮堤整備などの早期実現

地震・津波の発生時期は予見できないことから、市町と連携して、一刻も早い防潮堤をはじめとした津波対策の実現と整備完了までの工程表の提示を期待します。

#### ②企業・中小企業組合の防災・減災への取組み支援策の充実

企業・中小企業組合の防災・減災への取組みを加速するため、特に沿岸・都市部の企業等が継続的に活動できる支援策、移転を希望する企業等に対する支援策の充実を期待します。

#### ③沿岸・都市部の再生モデルやあり方の研究への取組み

メガソーラーや植物工場など沿岸・都市部へ投資を呼び込む方策を検討するなど、沿岸・都市部の再生モデルの構築に共に取り組んでいただきたい。

### 3. 新産業の創出・集積に向けた支援の強化

#### ①成長分野産業の育成の推進と企業立地補助金の要件の見直し

医療・介護や航空宇宙など成長分野産業の育成の推進を期待します。また、産業集積を推進するためにも、企業立地補助金の雇用要件などについては、さらに利用しやすくなるよう見直しを期待します。

## ②農商工等連携による6次産業化の推進

経済界においても商工業と農林水産業との連携に取り組んでいるところであり、農商工等連携による6次産業化の取組みへの支援を期待します。

## ③規制緩和の推進

総合特区における規制緩和に係る国との協議や、市街化調整区域における工場等の立地基準など県が独自に実施可能な見直しに取り組んでいただいておりますが、今後も、さらなる規制緩和の推進を期待します。

## 4. 構想の実現に向けた取組みの拡充・推進

### ①取組みの拡大に向けた施策の拡充

沿岸・都市部や伊豆地域の取組みの拡大に向けて、内陸フロンティア推進区域の支援メニューに、にぎわいづくりや観光的魅力を備えた拠点の創出を促す施策を追加・拡充していただきたい。

### ②山梨県等との連携の推進

中部横断自動車道を活用した産業振興を図るため、山梨県、長野県の自治体や経済団体との一層の連携を、共に進めていただきたい。

### ③全庁・全県的な取組みの推進

構想の実現に向けて、人口減少対策への取組みや産業成長戦略会議と連携し、シナジー効果のある取組みの推進を期待します。また、地域づくりの早期具体化のための市町とのさらなる連携強化を図っていただきたい。

平成26年10月14日

内陸フロンティア推進コンソーシアム 代表 後藤康雄  
副代表 岩崎清悟  
副代表 前沢 侑  
副代表 諏訪部敏之  
事務局 鈴木一雄